

高崎 『幻の縦笛、見事な音色』 岸さんが復元楽器演奏



幻の楽器と呼ばれる縦笛「オークラウロ」の演奏会が、高崎市飯塚町のマリエル高崎で開かれた。同市下里見町のオークラウロ奏者、岸星童さん(73)と渋川市出身のピアノ奏者、保坂修平さん(37)が初協演し、見事な音色を響かせた。

昨年9月に完成したばかりの復元第1号を

オークラウロを演奏する岸さん(右)と伴奏する保坂さん

岸さんが持ち寄り、保坂さん作曲「オークラウロのためのアリア」や「朔太郎のテーマ」などを保坂さんの伴奏で披露した。高音域の速いパートはフルートのような軽快な音色で、低音域は尺八の哀愁を漂わせた。

同志社大、同志社女子大の卒業生らが所属する校友会群馬支部と

同窓会群馬支部が主催する「春の集い」の一環として行われた。

上毛新聞2015年3月20日(金)の掲載内容